

「七つのまちがい探し」

🌸 ワクワク♪ 始まりの春♪ 🌸

※解答は中面をご覧ください。



外来担当医一覧表

令和8年4月1日現在

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日	
内科	12番	(一般内科-呼吸器) 金井	(一般内科-呼吸器) 岩泉	(間質性肺炎-予約制) 中村	(一般内科-呼吸器) 金井	休診 患患の方は診察を いたします。 (事前にお電話ください)	
	13番	(一般内科-循環器) 床並	(一般内科-呼吸器) 中村	(一般内科-呼吸器) 大嶋	(一般内科-呼吸器) 永福(建)		
	14番	(一般内科-糖尿病) 永田(初診)		(一般内科-糖尿病) 永福(未)	(一般内科-循環器) 磯垣		
	15番	(一般内科-呼吸器) 藤田	(一般内科-呼吸器) 三輪				
	16番	(一般内科-呼吸器) 伊藤	(一般内科-腎臓) 辻	(一般内科-呼吸器) 平松	(一般内科-呼吸器) 大竹		
	17番						
	19番	(一般内科-脳神経内科) 福徳	(一般内科-脳神経内科) 西山	(一般内科-脳神経内科) 福徳	(一般内科-脳神経内科) 西山		(一般内科-消化器) 乾
	21番						(免疫リウマチ内科) 雪嶋
初診(11-20番)	平松/大嶋 西山	永福(建)/(輪番) 福徳	藤田/大竹 西山	金井/(輪番) 福徳	岩泉/伊藤		
整形外科		PM 素村					
小児科		再診のみ 豊田		再診のみ 豊田			
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全)			PM 再診のみ 渡邊				
児童精神科 <small>完全予約制で、医療機関等の紹介状が必要です。紹介状を取得後に電話で予約してください。</small>	1(56番)		山村	山村	山村		
	2(55番)	藤田		藤田	藤田		
	3(54番)	櫻井		櫻井			
	4(53番)		神谷		神谷		
眼科(22番)			PM(第2-4水) 再診のみ 李				
皮膚科(15番)			再診のみ 西垣				
内科特殊外来(午前)	アレルギー外来(予約制) 呼吸器科医師			抗感染外来(予約制) 呼吸器科医師			
内科特殊外来(午後)				禁煙外来(予約制) 呼吸器科医師	休診		
脳神経内科特殊外来(午後)	もの忘れ外来(予約制) 神経内科専門医	もの忘れ外来(予約制) 神経内科専門医					

*泌尿器科及び皮膚科は再診患者様のみです。*児童精神科を初めて受診される方は、事前に電話予約が必要となります。



独立行政法人 国立病院機構天竜病院

〒434-8511 静岡県浜松市浜名区於呂4201-2
TEL(053)583-3111(代) <https://tenryu.hosp.go.jp/>



天竜病院
ホームページ



外来担当医
一覧表

声なき思いを聴きとる

- 私たちは、患者さんの気持ちを尊重した、信頼される医療を目指します
- 業務への誇りと熱意が抱ける発展的な組織を目指します



KAGAYAKI かがやき

vol.106

2026年4月発行

天竜病院ニュース



INDEX

- P1 ● りゅうりゅうくんボイス!
- P2 ● 院長就任のご挨拶
 - ホームページをリニューアルしました
- P3 ● 退任のご挨拶(前院長)
 - 喀痰(かくたん)検査について
- P4 ● 七つのまちがい探し
 - 外来担当表

りゅうりゅうくん
ボイス!



りゅうりゅうくん

こんにちは、りゅうりゅうです。

当院はこの春、新しい中村院長先生といっしょに新たなスタートをきりました。これまで当院を支えてくれた白井前院長先生には、「かがやき」にも記事を書いていただくなど、たくさん力を尽くしていただきました。本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

これからも、浜松、天竜地域はもちろん全国のみなさんに愛される病院をめざして、みんなで力をぎゅっと合わせてがんばっていくよ。

これからもどうぞよろしくね。

院長就任のご挨拶



このたび令和8年4月1日付で、院長を拝命いたしました。

歴史と伝統ある当院の舵取りという重責を担うこととなり、身の引き締まる思いとともに、地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいりたいという強い思いを新たにしております。

当院は、呼吸器疾患や神経難病、重症心身障害児者医療、児童精神科医療などの専門分野を担うとともに、一般内科診療にも対応する地域の中核病院としての役割を果たしてまいりました。診療科によっては県外からも患者様をご紹介いただいております。慢性期の患者様も含め、地域の医療機関の先生方と力を合わせながら、多くの患者様の診療に携わっております。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しております。高齢化の進展や慢性疾患の増加、医療の高度化

に伴い、一つの医療機関だけで完結する医療から、地域全体で支える医療への転換がますます重要となっております。当院は今後も、地域医療機関との円滑な紹介・逆紹介体制の充実、専門医療の質の向上、安全で信頼される医療の徹底、そして多職種が連携するチーム医療のさらなる充実を柱に、地域医療の一翼を担ってまいります。

患者様にとって「安心して相談でき、必要な医療を受けられる拠点」であり続けられるよう努めるとともに、地域の先生方にとっても、これまで以上に相談しやすい、連携しやすい病院でありたいと考えております。

医療は、人と人との信頼の上に成り立つ営みです。職員一同、誠実さと専門性を大切にしながら、温かみのある医療を心がけ、地域に貢献してまいります。

今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立病院機構天竜病院 院長 中村 祐太郎

退任のご挨拶



このたび私は、2026年3月末をもって国立病院機構天竜病院を定年退職することとなりました。昭和63年の赴任以来、36年間にわたりこの地で働く機会をいただき、多くの患者さん、ご家族、地域の皆さま、そして日々現場を支えてくれた職員の皆さんに、心より御礼申し上げます。

振り返れば、結核医療、慢性期医療、重症心身障害児(者)医療など、天竜病院が担う役割は時代とともに広がり、重みを増してきました。医療は決して一人では成り立たず、看護、リハビリ、薬剤、検査、栄養、事務、施設の皆さんまで、多職種の力が重なって初めて

患者さんの安心につながる——そのことを私は天竜病院で学び続けました。院長としては、コロナ禍への対応や病床運用、職員不足など、厳しい局面もありましたが、どの場面でも「患者さんの気持ちを大切にする」という当院の理念が私たちの拠り所でした。

4月からは新体制のもと、天竜病院はさらに前へ進みます。私は今後も、形を変えながら地域医療に関わってまいります。

36年間、本当にありがとうございました。皆さまのご健康と天竜病院の一層の発展を心よりお祈り申し上げます。

国立病院機構天竜病院 名誉院長 白井 正浩

ホームページをリニューアルしました!

みなさん、天竜病院のホームページが新しくなっていることにお気づきでしょうか?

今までは文字主体のホームページでしたが、天竜病院の雰囲気が伝わるよう写真をたくさん掲載し、もっと見やすく、もっとわかりやすくなるようデザインも見直しました。

これを機に今まで以上に情報を発信するホームページにしていきたいと思っておりますのでご期待ください!



URL <https://tenryu.hosp.go.jp/>



喀痰(かたん)検査について

喀痰検査とは、痰の中に含まれる微生物を調べ、病気の原因となる菌を特定するための大切な検査です。原因菌を正しく見つけることが、適切な治療へとつながります。

しかし、提出された痰の「質」や「量」がよくなると、正確な検査結果が得られないことがあります。

良い痰とは?

検査に適した「良い痰」とは次のようなものです。

- 肺の奥から出てきたもの
- 黄色や緑色をしている
- 粘り気があり、ドロツとしている

一方、透明でサラサラしたものは唾液であることが多く、唾液は痰と比べ検査には適していません。また、検査には少なくとも1mL程度の痰が必要です。

採取のポイント

- 朝起きてすぐにうがいをしてから、食事、歯磨き、服薬の前に採取してください。
- 肩や胸の筋肉を動かしてリラックスし数回深呼吸を行ってください。

- 深く息を吸ったタイミングで、お腹の力を使って咳をしてください。のどではなく、肺の奥(胸のあたり)から出すように意識しましょう。
- 痰が出にくいときは、コップ1杯程度の水を飲む、蒸気を吸うなども効果的です。



それでも難しい場合は、ネブライザー(吸入器)で痰を排出しやすくすることができます。ご希望の方は、10番の診察案内へお問い合わせください。

採取時のお願い

痰を出す際に、咳とともに病原菌が周囲に飛び散る可能性があります。院内で採取される方は、屋外または換気されている場所で採取してください。



良い痰を採取することは簡単ではありませんが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。